



訪問ガイド 2026

アンジェ城

アンジェ ・ から 14€

<https://chateau-angers.visit-tickets.com/ja/> ・ 優先入場チケット & 料金

歴史 & エクスぺリエンス

起源 & 歴史

石と織物が語る権力争い

GOOGLE **4.5** ★★★★★ 19 201レビュー

TIQETS **4.7** ★★★★★ 380レビュー

アンジェ城の歴史は、メイン川を見下ろす片岩の丘に刻まれた戦略的な物語です。紀元前4500年の新石器時代の墳墓から始まり、ガロ・ローマ期の砦を経て、この地は何世紀にもわたって権力の中心でした。9世紀にはノルマン人の襲撃から町を守るため、アンジュー伯がここに居を構えましたが、現在の壮大な石造りの要塞が誕生するのは13世紀のことです。ルイ9世（聖ルイ）は、フランス王権がアンジュー伯領を征服した後、パリの支配を確固たるものにするために、この不敗の砦の建設を命じました。カペー朝の力強い意志が、冷厳な軍事建築として具現化されたのです。

しかし、城の運命は15世紀に劇的に変化します。アラゴンのヨランドがここでアンジュー公ルネを出産したことを皮切りに、城は単なる防衛施設から洗練された公爵の邸宅へと変貌しました。ルネ公の時代、堅牢な石壁の内側には豪華な応接室や厨房が設けられ、王朝政治と芸術文化が交錯する場となりました。この時期の改修により、城は中世後

期の貴族生活の象徴となり、冷たい軍事要塞というイメージを脱ぎ捨て、人間味あふれる居住空間としての側面を強めました。

16世紀の宗教戦争の後、ヘンリ3世は敵対勢力の拠点となるのを防ぐため、城の破壊を命じます。幸いにも塔の上部のみが被害を受け、主要な城壁構造は奇跡的に保存されました。その後、城は刑務所、兵舎、弾薬庫として利用され、第二次世界大戦中は特に過酷な役割を担いました。しかし、その歴史的価値は失われず、1954年以降、国立記念物センターによって管理されるようになり、観光名所としての新たな生命を得ることになりました。

現在、アンジェ城は世界で最も重要な中世遺跡の一つとして知られています。特に収蔵されている『アポカリプス』タペストリーは、ユネスコの世界記憶遺産に登録されており、世界中の専門家を惹きつけています。石の要塞が語る王と公爵の争いの歴史と、繊細な織物が描く終末のビジョンが共存するこの場所は、過去と現在をつなぐ生きた博物館であり、訪れる者に深い感動を与え続けています。

体験

アンジェ城の門をくぐると、現代の喧騒は一瞬で消え去り、中世の空気が漂う別世界へ足を踏み入れたような感覚に包まれます。巨大な方形塔が空高くそびえ立ち、厚い石壁が重厚な静寂を守っています。光が石畳に差し込む様子や、風がパラペットを通り抜ける音は、何百年も前にここを行き交った人々の足音を彷彿とさせます。訪れる者は、単なる観光客ではなく、歴史の証人として、この要塞の脈動を感じ取ることができるでしょう。

城内を進むにつれて、冷厳な軍事施設と華やかな公爵居室の対照的な美しさが印象的です。城壁からはマイン川とアンジェ市街のパノラマが広がり、開放感をもたらしますが、内部の廊下や部屋では、当時の権力者の生活様式が細部まで再現されています。特に『アポカリプス』ギャラリーに足を踏み入れる瞬間、自然光が赤や青の鮮やかな色を引き立て、織物の質感が生々しく感じられるのは息を呑む体験です。この場所では、視覚だけでなく五感全体を使って、中世の神秘と栄光に触れることができます。

訪問の準備

実用的な情報

住所

市中心部・トラム：シャトー駅（A線、直接出口）またはバス1/2系統。

営業時間

季節変動あり：夏期は10:00-18:30、冬期は10:00-17:30。
チケット窓口は閉館45分前に終了します。

料金

18歳未満およびEU/EEA域内の18〜25歳は無料。大人料金は夏季14€、冬季11€。

所要時間

城壁、王居、そして黙示録ギャラリーを急がずにゆっくり巡るには、約1時間30分を見込んでください。

写真撮影

ほとんどのエリアで写真撮影が可能です。制限事項にご注意ください。特別展期間中や、タペストリの繊細な織物保護のため、特定の制限がある場合があります。

対象客層

すべての訪問者に適した施設：子供連れの家族（プレイフルなコース）、中世歴史愛好家、そして多言語オーディオガイド（英語含む）を提供しているため、国際的な旅行者にもおすすめです。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



地下鉄

: アンジェ : バスターミナル エスプラナード — 7 min à pied

アンジェ : エスプラナード バスターミナル (7 min) ・ イビス スタイルズ アンジェ セントラル ガール (8 min)



バス

: アンジェ - バスターミナル および SNCF 駅 — 8 min à pied

アンジェ : バスターミナル エスプラナード (10 min) ・ イビス スタイルズ アンジェ セントラル ガール (11 min)



自動車

アンジェ : バスターミナル エスプラナード (5 min) ・ イビス スタイルズ アンジェ セントラル ガール (6 min)



バイク

アンジェ : バスターミナル エスプラナード (5 min) ・ イビス スタイルズ アンジェ セントラル ガール (6 min)

LOCALISATION

Où se trouve アンジェ城？



📍 2, Promenade du Bout du Monde — 49100 アンジェ

🌐 47°28.200' N, 0°33.600' O

組織

城壁から王居への巡り方

レベル1：城壁と防御施設

城の最外郭である城壁を歩きます。櫓矢壁（クーティーン）に沿って歩き、マイン川とアンジェ市街のパノラマを楽しめます。方形塔の重厚なシルエットや、かつての防御堀の深さを体感できます。子供たちがエネルギーを発散できる安全な空間でもあります。

レベル2：王居（ロワ・レジス）

15世紀に公爵たちが暮らした居住区です。応接室、厨房、寝室など、当時の貴族生活の様子を再現した部屋が並んでいます。軍事要塞とは対照的に、暖かみのある内装と細部にわたる装飾が見どころです。公爵たちの日常生活に迫ることができます。

レベル3：アポカリプス・ギャラリー

城の真珠とも呼ばれる『アポカリプス』タペストリーが展示されている特別室です。自然光を活用して繊細な織物が保護されており、世界唯一の傑作を目の前にすると息を吞みます。ユネスコ登録の重要性を実感できる、最も荘厳な空間です。

アクセシビリティ

🚻 車椅子アクセス

1階と広々としたスペースへの部分的アクセス可能；上層階については要確認。



ファミリー向け

城壁の遊び場や教育プログラムがあり、家族連れに適した施設です。



オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語

選 択

見逃せない8つの絶景と傑作

01

アポカリプス・ギャラリー

『アポカリプス』タペストリー

世界で最も保存状態の良い中世タペストリーの集合体であり、ユネスコの世界記憶遺産に登録されています。14世紀の図像学的精度で聖書の黙示録を描き、赤と青の鮮やかな色彩が自然光の中で輝きます。訪れる者は、その規模と細部の精巧さに圧倒されるでしょう。

💡 このタペストリーは当初、アンジュー公ジャン2世の婚礼贈り物として制作されましたが、後に王室の宝物として扱われ、数世紀にわたって隠蔽されてきた歴史があります。

02

城壁巡行路

城壁からのパノラマ

城壁の上からは、マイン川とアンジェ市街の美しい景色が一望できます。黄金色の光が石の浮き彫りを際立たせる朝または夕方は、写真撮影に理想的です。方形塔のシルエットが空に浮かぶ姿は、アンジェのシンボルとなっています。

💡 城壁の一部には、かつて囚人が閉じ込められていた小さな部屋が残っており、暗い歴史の痕跡を残しています。

03

王居（ロワ・レジス）

公爵の応接室

15世紀の公爵たちが客人をもてなしていた部屋です。暖炉や壁画、家具の配置から、貴族生活の洗練が伺えます。軍事要塞の硬直性と対照的に、ここでは人間味あふれる雰囲気を味わえます。

💡 この部屋では、アラゴンのヨランドが外交交渉を行い、アンジュー家の影響力を拡大させた重要な会議が開かれたと言われています。

04

城壁入口付近

方形塔（Tour Carrée）

城の最も特徴的な塔の一つで、その重厚な構造が印象的です。防御機能を重視した設計であり、内部の階段を上ると頂上からの眺望が広がります。石の積み上げ方から、中世の建築技術の高さがわかります。

💡 この塔は、ヘンリ3世による破壊命令からも免れ、ほぼ完全な形で残っている貴重な例です。

05

王居内

礼拝堂（Saint-Laud Chapelle）

公爵家族専用の礼拝堂で、静謐な雰囲気が漂います。ステンドグラスや祭壇の装飾が美しく、信仰心の強さを伝えています。城の中心的な精神的空間として機能していました。

💡 礼拝堂の床下には、ガロ・ローマ期の遺構が一部残っており、層になった歴史を感じさせるスポットです。

06

王居（ロワ・レジス）

厨房と食堂

中世の厨房設備が再現されており、大きな竈や調理器具が見学できます。食事文化の変化を理解するのに役立ちます。食堂では、公爵たちがどのような料理を享楽していたか想像できます。

💡 厨房の煙突は、火災防止のために特別に設計されており、当時の技術力を示しています。

07

城外周

堀庭園（Fossés-Jardins）

かつての防御堀が整備された緑豊かな庭園です。木々の日陰でピクニックをしたり、休憩を取ることができます。自然と歴史が調和した空間で、城壁の厚さや元の堀の深さを視覚化できます。

💡 庭園には、中世の植物が植えられており、当時の庭園文化を再現しています。

08

各展示室

オーディオガイドパネル

複雑な歴史（伯、王、公爵）を明確に理解するためのサポートツールです。多言語対応しており、建築時代や様式転換を詳しく解説しています。自由見学を大幅に豊かにしてくれます。

💡 オーディオガイドには、専門家による音声解説が含まれており、教科書では知れないエピソードも聞けます。

アドバイス

完璧な訪問のための必須チェックリスト

TIMING

アポカリプス・ギャラリーは閉館15分前に閉まります。学校グループが11時以降に到着するため、早朝の訪問がおすすめです。静かで contemplative な鑑賞を保証します。

BILLET

EU/EEA域内の18〜25歳は無料です。有効な身分証明書を必ず持参してください。ハイシーズンにはオンライン予約待ち時間を避けるため推奨されます。

PARCOURS

まず城壁を回り、次に王居、最後にアポカリプス・ギャラリーという順がおすすめです。体力を消耗する城壁を先に済ませ、落ち着いた状態でタペストリーを鑑賞しましょう。

PHOTO

城壁からの写真は、朝または夕方の黄金時間の光が石の浮き彫りを際立たせます。方形塔のシルエットを狙うのも良いでしょう。ただし、タペストリー撮影は制限があります。

PAUSE

堀庭園でピクニックしたり、近くのリリアンマン広場でコーヒー休憩を取りましょう。訪問後のリラックスに最適な場所です。

ENFANTS

城壁は子供たちがエネルギーを発散できる安全な空間です。ただし、狭い階段があるため、ベビーカーでの移動は困難なエリアもあります。プレイフルなコースを利用しましょう。

AUDIOGUIDE

多言語オーディオガイド（英語含む）は、複雑な歴史を理解するために強く推奨されます。カペー朝の要塞と公爵レジスの様式転換を明確に区別するのに役立ちます。

CONFORT

城壁には階段や古い舗装面があるため、ヒールや滑りやすいソールは避け、軽量のウォーキングシューズを履いてください。猛暑時は営業時間が変更されるため、公式サイトを確認しましょう。

よくある質問

よくある質問

アンジェ城の入場料はいくらですか？

大人料金は、ハイシーズン（5月～9月）で14€、ローシーズン（9月～4月）で11€です。18歳未満および18～25歳のEU市民は、年間を通じて入場無料です。

入場チケットには何が含まれていますか？

チケットにより、城壁、中庭、庭園、王宮、礼拝堂、そして有名な『黙示録』タペストリーギャラリーを含む施設全体への完全アクセスが提供されます。また、城の歴史的な部屋で開催される期間限定展示へのアクセスも含まれます。

事前に予約する必要がありますか？

オンライン予約は必須ではありませんが、待ち時間を避けるためハイシーズンには推奨されます。通常期であれば、現場のチケットカウンターで直接購入することも可能です。マイン川沿いの特別なガイド付きツアーについては、常にアンジェでの空き状況を確認してください。

団体割引はありますか？

はい、添乗員同行の団体や学校団体向けの特別料金があります。センター・デ・モニュマン・ナショナルから最適な条件を得るために、訪問を調整するには数日前に城の受付に連絡することをお勧めします。

なぜ『黙示録』タペストリーは有名なのですか？

世界で最も保存されている中世タペストリーの集合体であり、ユネスコの世界記憶遺産に登録されています。14世紀において独自の図像学的精度で聖書の黙示録の場面を描いています。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

ユネスコ登録の意義

『アポカリプス』タペストリーは、世界の記憶に登録された世界唯一のテキスタイル傑作です。中世芸術の卓越性を象徴し、国際的な専門家を惹きつける特別な遺産として認識されています。

プランタジネット家の巢

15世紀、アラゴンのヨランドがここでアンジューのルネを出産しました。この出来事は城を主要な公爵邸宅として刻み、軍事要塞から貴族生活の場へと変容させました。

部分的破壊の真実

16世紀、ヘンリ3世は城の破壊を命じましたが、塔の上部のみが被害を受け、主要構造は保存されました。これにより、後の刑務所や博物館としての再利用が可能になりました。

戦略的な高地

サイトは標高47メートルに達する片岩の突出部に建設されており、河谷からの攻撃に対して自然な防御優位性をもたらしました。この地形が城の不敗性を支えました。

博物館周辺

アンジェ城の周辺は、訪れる前の準備や後の休憩に最適な魅力的なスポットで溢れています。まず、メーヌ川の吊り庭園は、丘の上から川と城へ向けた素晴らしいパノラマビューを提供し、写真撮影に最適です。城のすぐ近くにあるサン＝モーリス大聖堂は、ゴシック様式の傑作で、その flamboyant な建築と壮大な塔は見ごたえ十分です。食後はラリアンマン広場で活気ある雰囲気を楽しみながら軽食を取るのもおすすめです。さらに、ゴヤやルーベンスの作品を収蔵するアンジェ美術館や、フレスコ画が美しいアンジェ市庁舎も徒歩圏内にあり、一日中充実した文化体験を楽しむことができます。

アンジェ城を訪れることは、単なる sightseeing を超えた時間旅行のような経験です。石の冷たさとタペストリーの温もりが織りなすコントラストは、歴史の複雑さを肌で感じさせてくれます。ぜひ、ゆっくりと歩き、それぞれの隅に込められた物語に耳を傾けてください。この城があなたに残す印象は、きっと長く心に響き続けるはずです。